

基準年度
単価年度

令和8年度
R8年8月度

設 計 書

場 所	福山市柳津町三丁目地内	
名 称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事	
金 額	設 計 金 額	円
設 計 概 要	常時用ポンプ電気設備工事 一式	

本 工 事 費 内 訳 書

工種：電気工事

費 目	工 種	種 別	細別／規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費								
	電気設備工							
		機器費						
			高压気中開閉器	台	1			
			高压受電盤	面	1			
			変圧器盤(低圧動力)	面	1			
			変圧器盤(低圧電灯)	面	1			
			ポンプ制御盤	面	1			
			投込圧力式水位計	台	1			
			計					[機器費]

福山市上下水道局

本 工 事 費 内 訳 書

工種：電気工事

費 目	工 種	種 別	細別／規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		直接工事費						
			輸送費	式	1			
			小計					
			直接材料費	式	1			第1号内訳書のとおり
			補助材料費	式	1			
			小計					
			労務費	式	1			第2号内訳書のとおり
			複合工費	式	1			第3号内訳書のとおり
			直接経費	式	1			
			小計					

福山市上下水道局

本 工 事 費 内 訳 書

工種：電気工事

費 目	工 種	種 別	細別／規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
			仮設費（率）	式	1			
			仮設費（積上げ）	人	1			交通誘導警備員B
			小計					（直接工事費）
			計					[直接工事費]
		間接工事費						
			共通仮設費（率）	式	1			
			準備費（積上げ）	式	1			第4号内訳書のとおり
			現場管理費（率）	式	1			
			据付(技術者)間接費	式	1			
			据付(機器)間接費	式	1			

福山市上下水道局

本 工 事 費 内 訳 書

工種：電気工事

費 目	工 種	種 別	細別／規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
			計					[間接工事費]
		据付工事原価						
		設計技術費						
			設計技術費	式	1			
			計					
		計（工事原価）						（工事原価）
		一般管理費等						
			一般管理費等	式	1			
			契約保証費	式	1			
			計					[一般管理費等]

福山市上下水道局

本 工 事 費 内 訳 書

工種：電気工事

費 目	工 種	種 別	細別／規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事価格								
消費税等相当額				%	10			
本工事費計								

福山市上下水道局

直接材料費

第 1 号内訳書

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
電柱装柱材		式	1				第 1 号明細書
ケーブル・電線		式	1				第 2 号明細書
配管材		式	1				第 3 号明細書
小配管等		式	1				第 4 号明細書
	計						

福山市上下水道局

労務費内訳書

第2号内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
労務費							
	電工	人					第5号明細書
	普通作業員	人					第5号明細書
	配管工	人					第5号明細書
	設備機械工	人					第5号明細書
	技術者（機器据付工）	人					第5号明細書
	技術者（単体試験）	人					第5号明細書
	計						

福山市上下水道局

複合工費													
第 3 号内訳書													
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
舗装版切断		アスファルト舗装版厚15cm以下	m	11.00									
舗装版破碎積込			m2	7.14									
キュービクル基礎工			式	1									
			合計										

福山市上下水道局

アスファルト殻運搬処分費													
第 4 号内訳書													
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
殻運搬		舗装版破碎		m3	0.35								
処分費等		再資源化施設受入費（アスファルト）		m3	0.35								
			合計										
			計										

福山市上下水道局

電柱装柱材

第1号明細書(1/3)

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
コンクリート柱	12m-19cm-3.5kN	本	1				
根枷	1,200 * 240 * 170	組	1				
腕金	1.8 引留用	個	2				
腕金	1.2 トンボ用	個	1				
腕金	0.9 電線用	個	1				
アームタイ	2.3×25×945	個	3				
自在アームバンド	UABD 317	個	5				
自在バンド	3BD-HC-17	個	3				
自在バンド	3BD-HC-12	個	1				
自在バンド	IBT-212	個	13				

福山市上下水道局

電柱装柱材

第1号明細書(2/3)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
高圧ピン碍子	一般形	個	3				
高圧引下用絶縁電線	PDC22	式	1				
足場ボルト	CP用	本	12				
支線ブロック	ロッド付き 1号	個	1				
シンプル	丸型18	1	12				
支線	亜鉛めっき鋼より線 38sq	本	1				
支線ガード	硬質ポリエチレン	本	1				
玉碍子	38sq用	個	1				
巻付グリップ	38sq 玉碍子用	個	2				
巻付グリップ	38sq シンプル用	個	2				

福山市上下水道局

電柱装柱材

第1号明細書(3/3)

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
	計						

福山市上下水道局

ケーブル・電線

第2号明細書(1/3)

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
高圧ケーブル	6kV EM-CET 38sq	m	16.3				
端末処理材料		組	2				
低圧ケーブル	EM-CET 100sq	m	40.3				
低圧ケーブル	EM-CET 38sq	m	10.0				
低圧ケーブル	EM-CE 14sq-3c	m	26.8				
同上付属材料		式	1				
制御ケーブル	EM-CEE 1.25sq-6c	m	15.3				

福山市上下水道局

ケーブル・電線

第2号明細書(2/3)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
制御ケーブル	EM-CEE 1.25sq-4c	m	7.3				
制御ケーブル	EM-CEE-S 1.25sq-3c	m	15.3				
同上付属材料		式	1				
電線	EM-IE 60sq	m	26.8				
電線	EM-IE 38sq	m	44.9				
電線	EM-IE 22sq	m	15.0				
電線	EM-IE 14sq	m	5.0				
電線	EM-IE 8sq	m	29.0				
電線	EM-IE 5.5sq	m	49.0				
同上付属材料		式	1				

福山市上下水道局

ケーブル・電線

第2号明細書（3/3）

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
	計						

福山市上下水道局

配管材

第3号明細書（1/2）

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
電線管	GLT70	本	3				
電線管	G104	本	1				
電線管	G82	本	9				
電線管	G36	本	7				
電線管	G28	本	1				
電線管	G22	本	1				
電線管	HIVE36	本	8				

福山市上下水道局

配管材

第3号明細書（2/2）

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
電線管	HIVE28	本	2				
電線管	HIVE22	本	5				
同上付属材料		式	1				
P. BOX	SUS、防水かぶせ蓋、400*400*400H	個	1				
P. BOX	SUS、防水かぶせ蓋、250*250*200H	個	1				
P. BOX	SUS、防水かぶせ蓋、200*200*150H	個	1				
	計						

福山市上下水道局

小配管等

第4号明細書（1/2）

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
防波管	VU150	本	2				
防波管	VU200	本	2				
同上付属材料		式	1				
水中電極	PH-2	個	2				
接地棒	φ 14 * 1,500	本	12				
接地棒用リード端子	φ 14用	個	6				
防波管架台	VU200用	個	1				
防波管架台	VU150用	個	1				
防波管サポート	VU200用	組	3				
防波管サポート	VU150用	組	3				

福山市上下水道局

小配管等

第4号明細書（2/2）

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
P. BOX固定金具	VU200用	組	1				
チェーンフック、ケーブルフック	SUS	組	1				
	計						

福山市上下水道局

労務費明細書

第5号明細書（1/3）

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
電 工	機器据付工	人					
	ケーブル・電線布設工	人					
	電線管布設	人					
	プルボックス取付工	人					
	接地工	人					
	建柱工	人					
	計	人					
	(端数処理)	人					電 工
普通作業員	機器据付工	人					

福山市上下水道局

労務費明細書

第 5 号明細書 (2 / 3)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
	建柱工	人					
	計	人					
	(端数処理)	人					普通作業員
配管工	防波管据付工	人					
	計	人					
	(端数処理)	人					配管工
設備機械工	機器据付工	人					
	計	人					

福山市上下水道局

労務費明細書

第 5 号明細書 (3 / 3)

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
	(端数処理)	人					設備機械工
技術者	機器据付工	人					
	計	人					
	(端数処理)	人					技術者 (機器据付工)
	単体試験	人					
	計	人					
	(端数処理)	人					技術者 (単体試験)

福山市上下水道局

施 工 条 件 表

対象工事名 : 柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事

項目	事 項	該 当		内 容					
① 計 画 準 備 関 係	施工計画書等の提出	●	あ り	○	な し			現場着手に先立ち、「機械設備工事一般仕様書」「電気設備工事一般仕様書・同標準図」に基づき機器製作計画書及び現場施工計画書を作成し、本工事（試掘等を含む）着手日前までに、監督員に提出し受理されること。	
		●	あ り	○	な し			現場着手に先立ち、「機械設備工事一般仕様書」「電気設備工事一般仕様書・同標準図」に基づき主要資材承認書を作成し、監督員の確認を得ること。	
	変更図面の作成	●	あ り	○	な し			設計図書に基づき現地の調査等を行い、現地の状況について照査する。変更が生じた場合は、変更図面を作成し、変更理由と共に監督職員に提出し協議すること。	
	取付ますの設置	○	あ り	●	な し			取付ますを設置できる権利がある関係者に対し、あらかじめ取付管及び取付ますの設置に関して十分に説明し、設置の有無及び設置場所の確認等を行い、「取付管及び取付ます設置確認書」を取得し、施工すること。また、取付ますの深さについても、十分検討すること。 なお、取得した「取付管及び取付ます設置確認書」は、完成図書とあわせて提出すること。	
	誓約書の提出	○	あ り	●	な し			試験掘りに先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物に対し、施工による不測の事態に対処するため、各管理者に誓約書を提出すること。また、その誓約書の写しを提出すること。 なお、福山市上下水道局管路維持課に提出する誓約書には、福山市上下水道局指定の配水本管工事施工資格業者を誓約業者として指定すること。	
	協議	●	あ り	○	な し	次のとおり、関係機関及び地域住民等との協議を行うこと。			
						関係機関	事項	協議の内容	備考
						中国電力	引込関連	工事の許可、高圧引込工事、電源の切替等	
						消防	変電設備設置	キュービクル（屋外）設置	
段階確認	●	あ り	○	な し			施工の重要な段階において、監督員の段階確認を受け、適切に実施すること。 なお、段階確認の工種及び時期、箇所等については、監督員と事前に協議するものとし、施工計画書に記載すること。		
その他	○	あ り	●	な し					

項目	事 項	該 当		内 容										
② 工 程 関 係	工事期間	●	あ	り	○	な	し	工事期間は、次のとおりの期間の合計としている。また、本工事（試掘等を含む）着手までの準備期間とし60日間を、検査期間は14日間を見込んでいる。なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。						
								☒ 準備期間	☒ 本工事施工期間	☐ 建物等調査期間	☒ 変更協議期間	☒ 工場製作期間		
								☒ 後片付け期間	☒ 検査期間	☐ 水道管移設期間	☐ ガス管移設期間	☐		
	関連する別途工事	●	あ	り	○	な	し	本工事に関連して、次の工事が施工、施工予定とされているため、相互に連絡・調整等を密にし施工すること。						
								関連工事の名称		発注者名		予定期間		備考
								柳津ポンプ場常時用ポンプ機械設備設置工事		福山市上下水道事業管理者		2026年11月1日から2027年3月31日まで		
	制約条件	●	あ	り	○	な	し	施工時期、施工時間及び施工方法に制約条件があるため、次のとおり、適切な処置を行うこと。						
								場所	制約の要因	制約の内容		備考		
								市道	道路使用	施工時間帯は昼間とし、道路使用許可条件を遵守するものとする。				
その他	○	あ	り	●	な	し								
③ 用 地 関 係	借地	○	あ	り	●	な	し	次のとおり、借地を見込んでいる。						
								場所	目的	面積	使用後の処置	備考		
	工事用地	○	あ	り	●	な	し	工事区間において、次のとおり、一部未処理用地がある。						
								場所	面積	協議内容	完了見込時期	備考		
	学校用地での施工	○	あ	り	●	な	し	学校用地における各種施設について形質を変更した箇所については、受注者の責任において原形復旧すること。						

項目	事 項	該 当		内 容					
④ 周 辺 環 境 保 全 関 係	建設公害の処置	● あ り ○ な し		騒音・振動・粉塵・その他の防止のため、次のとおり、適切な処置を行うこと。					
				項目		処理方法			備考
				建設機械（全般）		排出ガス対策型の使用			
	建物等の調査	○ あ り ● な し		一部の区間において、第三者に何らかの影響を及ぼすことが懸念されるため、次のとおり、発注者において近接する建物等の調査を実施する予定としている。 なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。					
				調査内容	調査項目	数量			備考
	井戸の調査及び その他の調査等	○ あ り ● な し		一部の区間において、第三者に何らかの影響をおよぼすことが懸念されるため、次のとおり、事前に井戸調査及びその他の調査等を実施し、調査結果（計量証明書等）を監督員に提出すること。 なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。					
				調査内容	調査項目	数量			備考
	六価クロム溶出試験 の実施	○ あ り ● な し		次のとおり、「六価クロム溶出試験」を実施し、試験結果（計量証明書）を監督員に提出すること。 試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領による。 なお、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。					
				場所	工種	配合設計段階検体数	施工後段階検体数	工法	備考
				合計		検体			
	濁水・湧水の処理	○ あ り ● な し		施工に伴い発生する濁水・湧水は、水槽等の沈砂池により適切に処理し、排水すること。					
	その他	○ あ り ● な し							

項目	事 項	該 当		内 容								
⑤ 安全対策関係	交通誘導警備員	● あ り	○ な し	交通誘導員については、次のとおり見込んでいる。								
				場 所	配置人数	配置期間		備考				
				工事場所	1	機器搬入時						
	近接施工	○ あ り	● な し	重要施設に近接した施工となるため、次のとおり、適切に管理を行うこと。								
				場 所	近接する施設	条件		備考				
	作業時間内の埋戻復旧 （管きょ工）	○ あ り	● な し	作業時間外は交通開放するため、掘削・埋戻は即日を実施すること。 また、作業時間内に埋戻し・仮復旧を完了させ、作業時間外は掘削に伴う開口部を残さないこと。 なお、不測の事態により、埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること。 掘削・埋戻・仮復旧に係る割増を見込んでいる。								
掘削部の安全対策 （分水室）	○ あ り	● な し	分水室の施工に係る掘削部について、道路管理者および警察等と協議し安全対策を実施すること。 その際に必要となる対策費用については、共通仮設費（率計上）以外について設計変更の対象とする。									
⑥ 埋戻関係	処理土	○ あ り	● な し	処理土の購入先は、建設発生土リサイクルプラントを見込んでいる。								
	流用土（現場内流用）	○ あ り	● な し	埋戻土は、現場発生土の一部を流用することとしている。								
	流用土（他工事流用）	○ あ り	● な し	埋戻土は、次のとおり、他工事の発生土を流用する予定としている。 なお、止むを得ない事情により、これにより難しい場合は、別途、協議すること。								
				他工事名		搬入場所		搬入時期		備考		
	真砂土	○ あ り	● な し	管きょ工以外において、不足する埋戻土は、真砂土（購入）を使用すること。								
	品質管理	○ あ り	● な し	品質管理頻度	埋戻土量		試験回数		（次のいずれか）			
					50～100m3未満		1回		簡易貫入試験		市道 14回以上/10cm	
100～500m3未満					2回		（土研式円すい貫入試験）		県道 17回以上/10cm			
500～1000m3未満					3回		現場密度試験		90%以上			
1000m3以上					3回以上				（複数回の場合異なる層、位置で実施）			

項目	事 項	該 当		内 容			
⑦ 建設副産物関係	建設発生土	●	あり	○	なし	当該工事により発生する建設発生土は、広島県が公表する建設発生土処分先一覧表に記載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）に搬出するものとする。	
	建設発生土 （他工事流用）	○	あり	●	なし	他工事流用の場合は、次の運搬先を見込んでいる。	
						工事名	搬出場所
	建設汚泥（泥土）	○	あり	●	なし	建設汚泥（泥土）は、次の運搬先を見込んでいる。	
						種別	搬出場所
	建設汚泥（泥水）	○	あり	●	なし	建設汚泥（泥水）は、次の運搬先を見込んでいる。	
						種別	搬出場所
	特定建設資材の廃棄物	●	あり	○	なし	特定建設資材の廃棄物は、次の運搬先を見込んでいる。	
						種別	搬出場所
						アスファルト殻	高本公害防止工業有限会社（福山市神村町字草刈3778-1）
	建設副産物情報 交換システム	●	あり	○	なし	建設副産物情報交換システムの登録対象工事である。	
	広島県土砂の適正処理 に関する条例	○	あり	●	なし	「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。	
	その他	○	あり	●	なし		

項目	事 項	該 当		内 容				
⑧ 仮設関係	土留	○ あ り	◎ な し	次のとおり、土留を見込んでいる。なお、開削工における建込土留については任意仮設とする。仮設方法は土質条件・現場条件および周辺環境を考慮し施工管理・出来形管理を行うこと。				
				場所	工法	土留種別	備考	
	仮設(土留)材料の残置	○ あ り	◎ な し	次のとおり、工事終了後も仮設（土留）材料を残置すること。				
				場所	仮設材料名	残置の形態	数量	備考
	仮設(土留)材料の賃料	○ あ り	◎ な し	本工事で使用する仮設鋼矢板及びH鋼杭は施工済であり、本工事における当該仮設材の賃料について以下のとおり計上している。				
				場所	規格	賃料計上開始日	数量	備考
	覆工材料の残置	○ あ り	◎ な し	別途工事で引き続いて使用するため、次のとおり、工事終了後も覆工材料を残置すること。				
				場所	仕様	数量	付属部材	備考
	水替	○ あ り	◎ な し	施工に伴う湧水について、水替ポンプにより排水することを見込んでいる。				
	仮設電力設備	○ あ り	◎ な し	次のとおり、仮設電力設備を見込んでいる。				
				場所	設備の種類			備考
				☐ 発動発電機	☐ 低圧受電	☐ 高圧受電		
				☐ 発動発電機	☐ 低圧受電	☐ 高圧受電		
	一般搬入道路	◎ あ り	○ な し	一般道路を搬入路として使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。				
				搬入道路	期間	時間	工事中・後の処置	備考
				全ての道路	工事期間	9時～17時	随時路面等の清掃、工事後舗装等の欠損部補修	処置は使用に伴い影響があった場合
	仮設進入口	○ あ り	◎ な し	仮設進入口を設置・使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。				
期間				安全施設	使用中の処置	使用後の処置	備考	
その他	○ あ り	◎ な し						

仕 様 書

第 1 章 総 則

第 1 節 適 用

本仕様書は、柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事に適用するものであって、法令、諸規格その他特別に定めるもののほか全て本仕様書に準拠し、工事の施工に当たらなければならない。また、本仕様書及び設計図は設備の基本的事項について記載したものであり、工事に際しては監督員と充分なる打ち合わせを行い、機能上必要となるものは全て具備されとともに、何ら欠陥のない全体として調和のとれた設備とするものである。

第 2 節 工事概要

本工事は、柳津ポンプ場常時用ポンプ機械設備設置工事で新設される常時用ポンプの電気設備工事を行うものである。

第 3 節 工事場所

福山市柳津町三丁目地内

第 4 節 工 期

本工事の工期は、工事請負契約（以下「契約」という。）締結の日から 2027 年（令和 9 年）3 月 31 日までとする。

本工事の工期は工事検査期間として 14 日間を見込んでいる。

第 5 節 主任（監理）技術者の配置

1）主任（監理）技術者の専任期間等

専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引き渡しを受けた日までとする。

- ① 契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）
- ② 工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成后、検査が終了し、事務手続などの残務があり、引渡しを受けるまでの期間

2）主任（監理）技術者の変更の特例

次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の

変更ができるものとする。

- ① 技術者の死亡、傷病、出産、育児、介護による就業不能又は退職等の真にやむを得ない理由により交代が必要と認められるとき
- ② 受注者の責によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき
- ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

第6節 準拠基準

- 1) 本設備の設計及び施工に対し、機器製作・据付・配管工事は次の諸規定の最新版に準拠するものとする。
 - ① 広島県土木工事共通仕様書
 - ② 電気事業法
 - ③ 電気設備技術基準
 - ④ 内線規程
 - ⑤ 電力会社供給約款
 - ⑥ 電気用品安全法
 - ⑦ 電気規格調査会標準規格（JEC）
 - ⑧ 日本電気工業会標準資料（JEM）
 - ⑨ 日本産業規格（JIS）
 - ⑩ 日本電線工業会標準規格（JCS）
 - ⑪ 労働安全衛生規則
 - ⑫ 消防法・同施行令・同施工規則・福山地区消防組合火災予防条例
 - ⑬ 福山市上下水道局工事検査技術基準（設備工事編）
 - ⑭ 日本下水道事業団 電気設備工事必携
 - ⑮ 日本下水道事業団 電気設備工事施工指針
 - ⑯ 日本下水道事業団 電気設備工事一般仕様書・同標準図
 - ⑰ その他・関係法規・規定等
- 2) 受注者は契約書・仕様書・設計書及び図面に従い誠実に工事施工に当たるのは勿論のこと、発注者の指示に従わなければならない。
- 3) 重要な指示事項は全て文書によって処理し受注者、発注者双方とも確認しておくものとする。
- 4) 本仕様書以外の事項
本仕様書に明記されていない事項についても、機能上当然必要と認められるものは全て受注者が充足するものとする。

第7節 施工の範囲

本工事の請負施工範囲は、電気設備及び盤類基礎の設計・製作・運搬・仮設・据付・調整・試運転までの一切とし、本設備を完成するために当然必要なものは、本仕様書に明記しない場合にあっても発注者の指示により受注者の負担で施工しなければならない。

第8節 材料の規格

本工事で製作する機器の部品、材料及び工事用資材は、全て設計図書に記載する規格に適合するもの、又はこれに準じるものを使用しなければならない。

第9節 安全管理

- 1) 受注者は、工事の安全な施工に常に細心の注意を払い、一般者及び工事従業者の保安に努めなければならない。
- 2) 現場内の整理、整頓を常に行い、保安及び衛生に努めなければならない。
- 3) 緊急時の応急処置及び連絡方法等を工事従業者に徹底しなければならない。
- 4) 危険物の保管及び取り扱い、安全の方策を講じなければならない。
- 5) 重要な施設の中又はこれに接近して施工する場合は、前もって監督員と緊急の応急措置及び連絡方法等について協議し、これらを厳守しなければならない。
- 6) 火災、盗難及びその他の事故防止について、十分な管理を行わなければならない。
- 7) 作業現場、作業用地内の既設構造物などに損傷及び劣化が見られた場合は、監督員に連絡するとともに、必要な安全措置を行うこと。

第10節 工事写真管理

- 1) 小黑板情報電子化対応ソフトウェアを使用する場合は、「土木工事共通仕様書（広島版）」に従い、工事契約後に監督員の承諾を得た上で、使用する機器・ソフトウェア等について工事着手までに提出すること。また、工事完成時に小黑板情報の電子的記入を行った写真の信憑性確認を行い、その結果を監督員へ提出すること。
- 2) 工事記録写真の提出は、工事写真帳と原本を提出する。原本は電子媒体（CD 又は DVD）に格納し提出する。

第11節 法定外労災保険

本工事は、公共工事等に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（「法定外の労災保険」という。）の保険料を見込んでいる。

第12節 提出図書及び報告書

受注者は施工に先立って次の図書を提出し、監督員の承諾を得るものとする。なお、承諾後の変更事項についても、その都度監督員の承諾を得なければならない。

- 1) 施工計画書（機器製作計画を含む）
- 2) 製作仕様書
- 3) 設計計算書
- 4) 盤製作詳細図（リレーシーケンス図面含む）
- 5) 展開接続図
- 6) ケーブル配線図
- 7) 機器据付図・基礎図
- 8) 検査要領書
- 9) その他監督員が必要と認めた図書

第 13 節 機器製作

- 1) 機器を製作する前に、監督員と十分に打ち合わせ及び協議を行い、機器製作承諾申請図書を監督員に提出し、これの承諾を受けなければならない。
- 2) 監督員の承諾後に、変更をする必要が生じた事項は、その都度協議を行い、変更承諾申請図書を提出し、これの承諾を受けなければならない。

第 14 節 工 事

本工事の施工に当たっては、既設設備の運転を停止することなく施工することを原則とする。もし、停止する必要がある場合は監督員に工事内容や当日のスケジュールについて事前連絡を行い、監督員に承諾を得て施工を行うこと。

第 15 節 石綿含有建材の事前調査

本工事の施工に当たり、事前に工事を行う工作物、建築物等に対し石綿含有建材が使用されているか否か調査を行わなければならない。事前調査の結果については記録の作成や工事現場への備え付け、発注者への説明、都道府県及び労働基準監督署への報告を行うこと。

第 16 節 関連工事

本工事の施工に当たり、関連工事として柳津ポンプ場常時用ポンプ機械設備設置工事があるため、相互に連絡・調整等を密にして施工を行うこと。

第 17 節 官公庁・電力会社・NTT への手続

本工事における官公庁・電力会社・NTT への申請（届出）手続については全て受注者の責任において行うこと。また、申請（届出）に伴い必要となる費用及び引き渡しまでに発生する使用料は受注者の負担とする。

第 18 節 検 査

各種の検査を行うに必要な経費は、全て受注者の負担とする。

第 19 節 疑義事項

本仕様書で疑義ある事項については、発注者、受注者協議の上決定するものとする。

第 20 節 工事完成時における提出書類

完成図書 紙面 2 部及び電子媒体（CD または DVD） 1 部
工事写真帳（紙面及び電子媒体（CD または DVD）） 1 部

第 21 節 その他

本工事は低圧受電から高圧受電に変更するため、工事期間中は自家用電気工作物における電気主任技術者を配置（選任）すること。

第22節 情報共有システムの利用

- 1) 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2) 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- 3) 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4) 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、(一社) 広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5) 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、「情報共有システム利用手引（土木工事）」に基づき運用すること。

第2章 受変電設備

第1節 概 要

本設備は、電力会社から供給される電源を受電及び変電し配電するものである。

第2節 機器構成

本設備の機器構成は、次のとおりである。

- | | |
|---------------|-----|
| 1. 高圧気中開閉器 | 1 台 |
| 2. 高圧受電盤 | 1 面 |
| 3. 変圧器盤（低圧動力） | 1 面 |
| 4. 変圧器盤（低圧電灯） | 1 面 |

第3節 機器仕様

- | | |
|--------------|--|
| 1. 高圧気中開閉器 | |
| (1) 数 量 | 1 台 |
| (2) 材 質 | SUS製 |
| (3) 定格電圧 | 6.6kV |
| (4) 定格電流 | 200A |
| (5) 操作方式 | 手動操作 |
| (6) 仕 様 | VT、LA内蔵
SOG制御装置付属
中継端子箱付属
重耐塩仕様 |
| (7) その他必要なもの | 1 式 |

2. 高圧受電盤

(1) 数 量	1 面	
(2) 形 式	屋外自立形	
(3) 参考寸法	設計図を参照し、承諾図により決定する	
(4) 構 造	側面、屋根及び扉板 2.0mm以上 底板及び天井板 1.5mm以上	
(5) 仕 様	屋外鋼板製（屋根のみSUS304）重耐塩塗装	
(6) 主回路定格電圧	3φ 6600V 60Hz	
(7) 塗 装	ポリウレタン樹脂又はエポキシ樹脂塗装 全艶仕上げ相当 (5Y7/1)	
(8) 盤面取付品（参考）	名称銘板	1 式
	監視用覗き窓	1 式
	集合表示灯（状態・故障）	1 式
	広角度指示計（110mm角）	5 個
	電圧切替スイッチ	1 個
	電流切替スイッチ	1 個
	操作スイッチ	1 個
	押釦スイッチ	3 個
	パイロットランプ	2 個
	過電流継電器	2 個
	不足電圧継電器	1 個
	地絡過電流継電器	1 個
	その他必要なもの	1 式
	断路器 7.2kV 200A	1 個
	真空遮断器 7.2kV 600A 12.5kA	1 個
	VCT設置スペース	1 式
	変流器	2 個
(9) 盤内収納器具（参考）	計器用変圧器	2 個
	制御用変圧器	1 個
	整流器	1 個
	補助継電器及び限時継電器	1 式
	ヒューズ	1 式
	盤内照明	1 式
	盤内配線及び端子台	1 式
	その他必要なもの	1 式

3. 変圧器盤（低圧動力）

(1) 数 量	1 面
(2) 形 式	屋外自立形

(3) 参考寸法	設計図を参照し、承諾図により決定する	
(4) 構造	側面、屋根及び扉板 2.0mm以上 底板及び天井板 1.5mm以上	
(5) 仕様	屋外鋼板製（屋根のみSUS304）重耐塩塗装	
(6) 主回路定格電圧	3φ 6600V 60Hz	
(7) 塗装	ポリウレタン樹脂又はエポキシ樹脂塗装 全艶仕上げ相当 (5Y7/1)	
(8) 盤面取付品（参考）	名称銘板	1 式
	監視用覗き窓	1 式
	集合表示灯（状態・故障）	1 式
	広角度指示計（110mm角）	2 個
	電圧切替スイッチ	1 個
	電流切替スイッチ	1 個
	地絡過電流継電器	2 個
	その他必要なもの	1 式
(9) 盤内収納器具（参考）	配線用遮断器 3P 225AF	5 個
	油入式変圧器 3φ 6600/440V 150kVA	1 台
	変流器	2 個
	零相変流器	2 個
	補助継電器及び限時継電器	1 式
	ヒューズ	1 式
	盤内照明	1 式
	盤内配線及び端子台	1 式
	その他必要なもの	1 式

4. 変圧器盤（低圧電灯）

(1) 数量	1 面	
(2) 形式	屋外自立形	
(3) 参考寸法	設計図を参照し、承諾図により決定する	
(4) 構造	側面、屋根及び扉板 2.0mm以上 底板及び天井板 1.5mm以上	
(5) 仕様	屋外鋼板製（屋根のみSUS304）重耐塩塗装	
(6) 主回路定格電圧	3φ 6600V 60Hz	
(7) 塗装	ポリウレタン樹脂又はエポキシ樹脂塗装 全艶仕上げ相当 (5Y7/1)	
(8) 盤面取付品（参考）	名称銘板	1 式
	監視用覗き窓	1 式
	集合表示灯（状態・故障）	1 式
	広角度指示計（110mm角）	2 個

	電圧切替スイッチ	1 個
	電流切替スイッチ	1 個
	地絡過電流継電器	2 個
	その他必要なもの	1 式
(9) 盤内収納器具 (参考)	配線用遮断器 3P 225AF	1 個
	配線用遮断器 3P 100AF	1 個
	配線用遮断器 3P 50AF	3 個
	油入式変圧器 3φ 6600/440V 20kVA	1 台
	変流器	2 個
	零相変流器	2 個
	補助継電器及び限時継電器	1 式
	ヒューズ	1 式
	盤内照明	1 式
	盤内配線及び端子台	1 式
	その他必要なもの	1 式

第 3 章 運転操作設備

第 1 節 概 要

本設備は、各設備機器が雨水ポンプ場施設としての機能を十分に発揮させるためのものであり、各負荷の運転操作に必要な動力・制御回路を構成するものである。

第 2 節 機器構成

本設備の機器構成は、次のとおりである。

- | | |
|-----------|-----|
| 1. ポンプ制御盤 | 1 面 |
|-----------|-----|

第 3 節 機器仕様

- | | |
|----------------|---------------------------------------|
| 1. ポンプ制御盤 | |
| (1) 数 量 | 1 面 |
| (2) 形 式 | 屋外自立形 |
| (3) 参考寸法 | 設計図を参照し、承諾図により決定する |
| (4) 構 造 | 側面、屋根及び扉板 2.0mm以上
底板及び天井板 1.5mm以上 |
| (5) 仕 様 | 重耐塩仕様 |
| (6) 主回路定格電圧 | 3φ 200V 60Hz |
| (7) 塗 装 | ポリウレタン樹脂又はエポキシ樹脂塗装 全艶仕上げ相当
(5Y7/1) |
| (8) 盤面取付品 (参考) | 名称銘板 1 式 |

	監視用覗き窓	1 式
	集合表示灯（状態・故障）	1 式
	広角度指示計（110mm角）	2 個
	モード切替スイッチ	1 個
	操作スイッチ	7 個
	その他必要なもの	1 式
(9) 盤内収納器具（参考）	配線用遮断器 3P 225AF	2 個
	配線用遮断器 2P 50AF	3 個
	配線用遮断器 3P 30AF	1 個
	変流器	1 個
	電磁接触器	2 個
	リアクトル始動器	1 個
	進相コンデンサ 500 μ F	2 個
	カレントコンバータ	1 個
	3 E リレー	1 個
	制御電源用変圧器	1 個
	補助継電器及び限時継電器	1 式
	ヒューズ	1 式
	盤内照明	1 式
	盤内配線及び端子台	1 式

第4章 計 装 設 備

第1節 概要

本設備は、水位を計測し、設備機器の自動運転化を行う他、指示・警報の出力によりプロセスの状態を把握し、管理の指標と省力化に役立てるものである。

第2節 機器構成

本設備の機器構成は、次のとおりである。

- | | | |
|----|--------------|-----|
| 1. | 投込圧力式ポンプ井水位計 | 1 組 |
| 2. | 水中電極 | 2 個 |

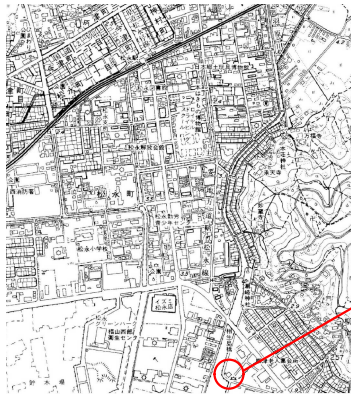
第3節 機器仕様

- | | | |
|-----|----------|-------------------|
| 1. | 投込圧力式水位計 | |
| (1) | 数 量 | 1 台 |
| (2) | 形 式 | 投込圧力式（2線式、中継箱省略型） |
| (3) | 測定流体 | 河川水 |
| (4) | 測定範囲 | 0～6m |

- | | |
|--------------|--|
| (5) 検出器材質 | SUS304又はSUS316相当 |
| (6) 変換器 | 精度 $\pm 0.5\%$ FS以内 (組合せ)
出力信号 DC4~20mA
電源 AC100V又は200V 60Hz |
| (7) 付属品 | ステンレス吊下げチェーン 6m以上
専用ケーブル 10m以上 |
| (8) その他必要なもの | 1 式 |

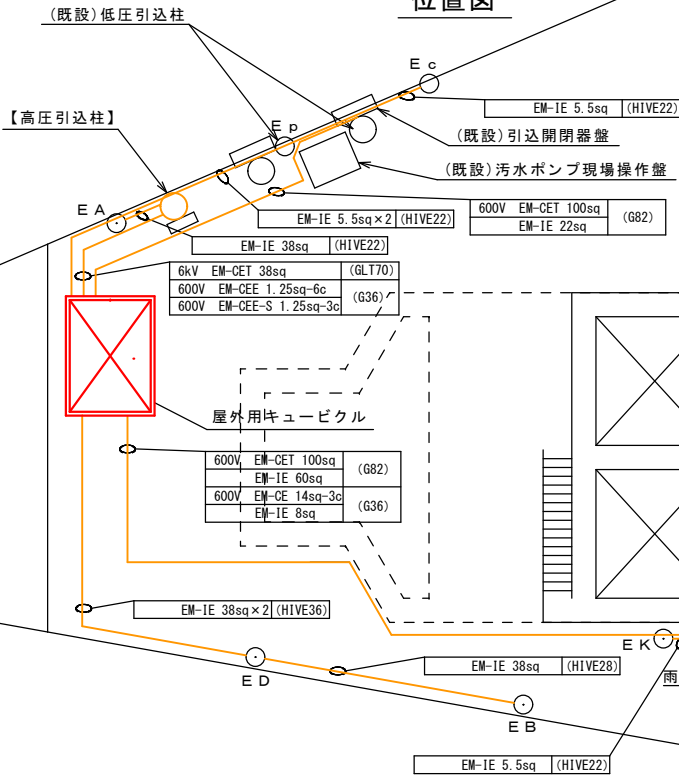
2. 水中電極

- | | |
|--------------|---------------|
| (1) 数 量 | 2 個 |
| (2) 使用流体 | 河川水 (海水の混在あり) |
| (3) 使用用途 | ポンプ井水位警報用 |
| (4) 付属品 | 専用ケーブル10m以上 |
| (5) その他必要なもの | 1 式 |



位置図

工事場所



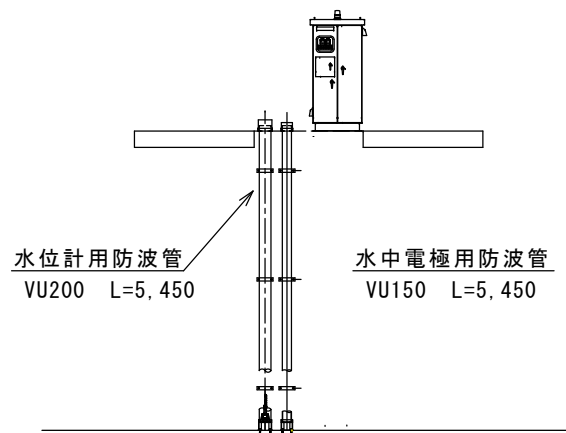
アスファルト舗装

アスファルト舗装

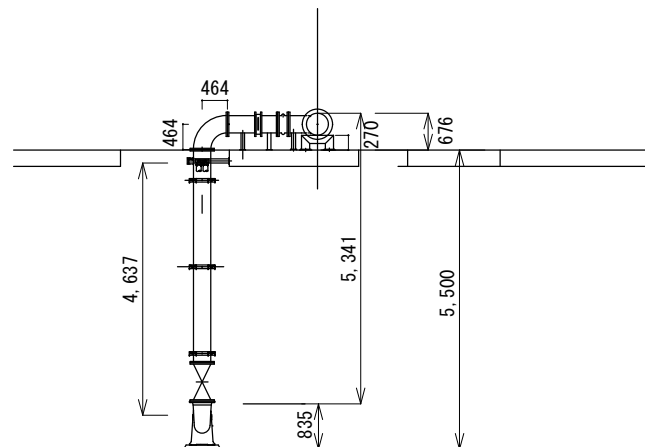
平面図

福山市上下水道局

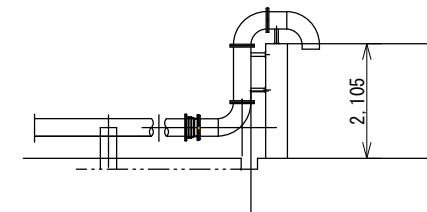
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	1	縮尺	NON
2026年9月	位置図、平面図		



“B”-“B”側面

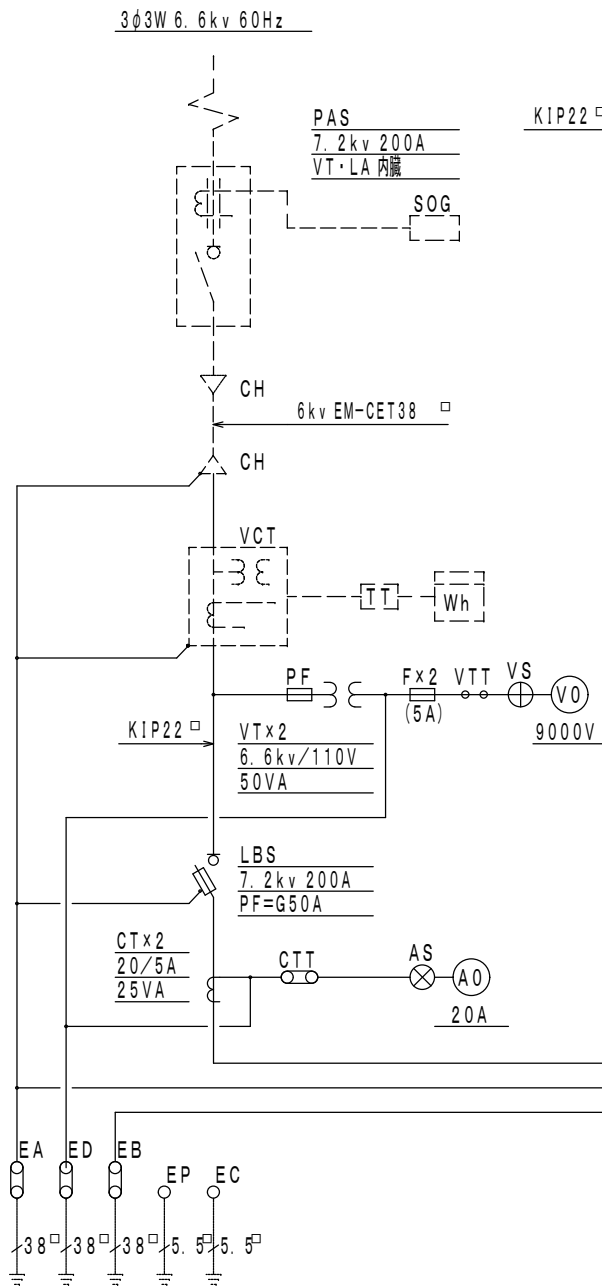


“A”-“A”側面

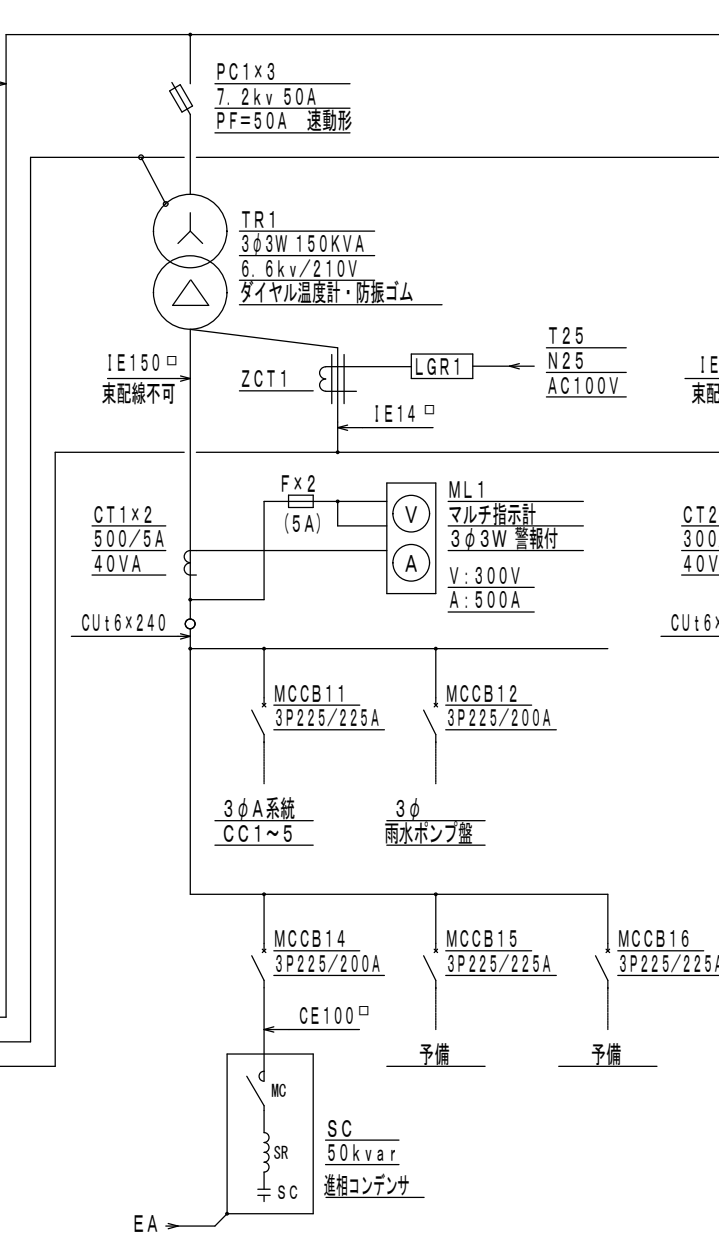


“C”-“C”側面

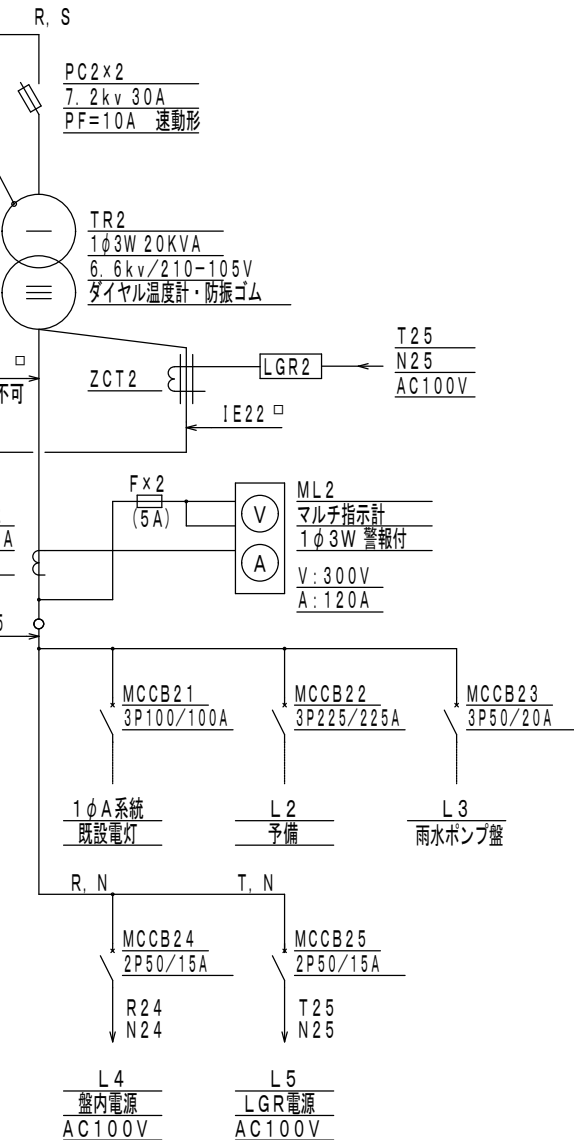
福山市上下水道局			
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	2	縮尺	NON
2026年9月	側面図		



高压受電盤

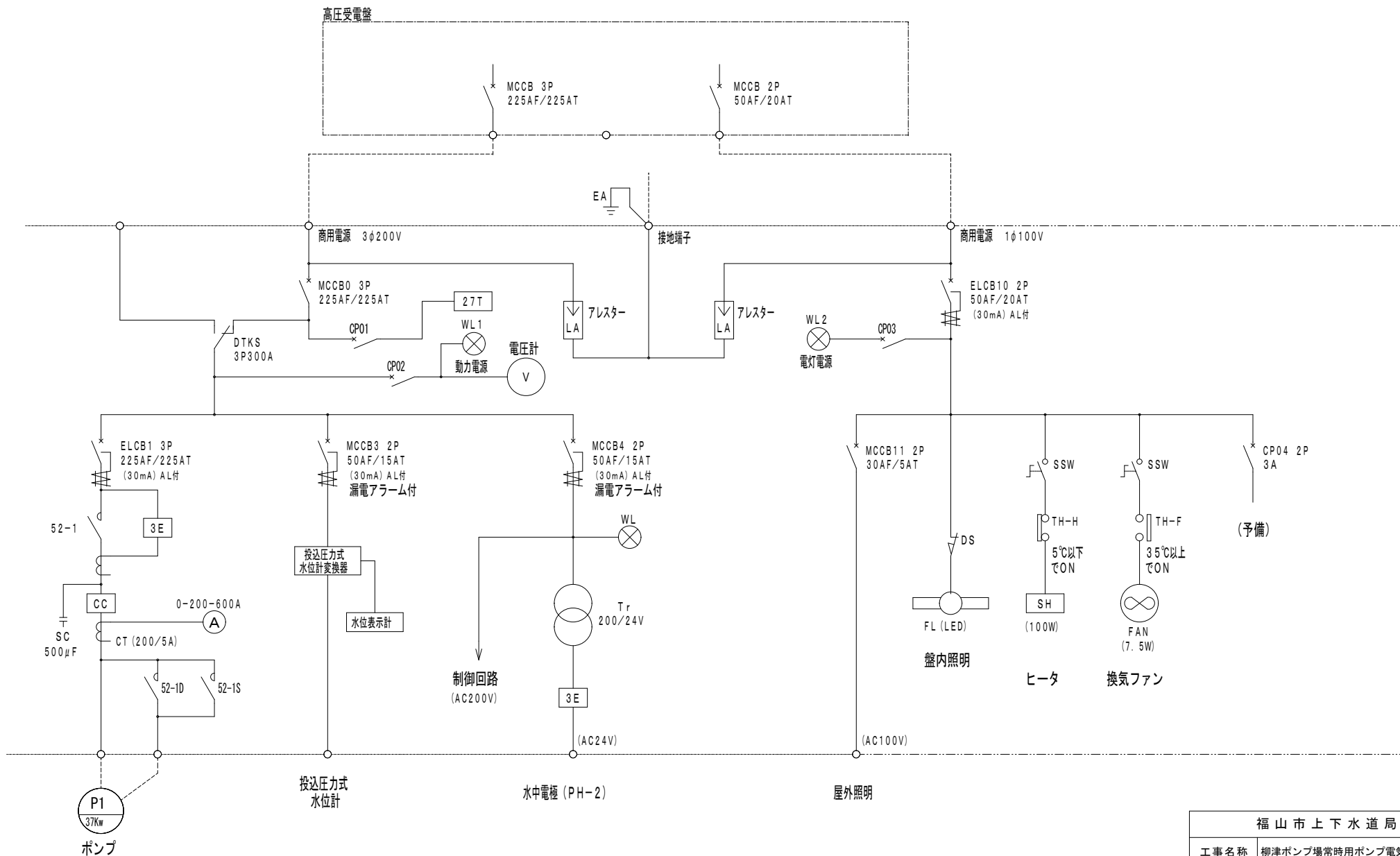


変圧器盤(低圧動力)



変圧器盤(低圧電灯)

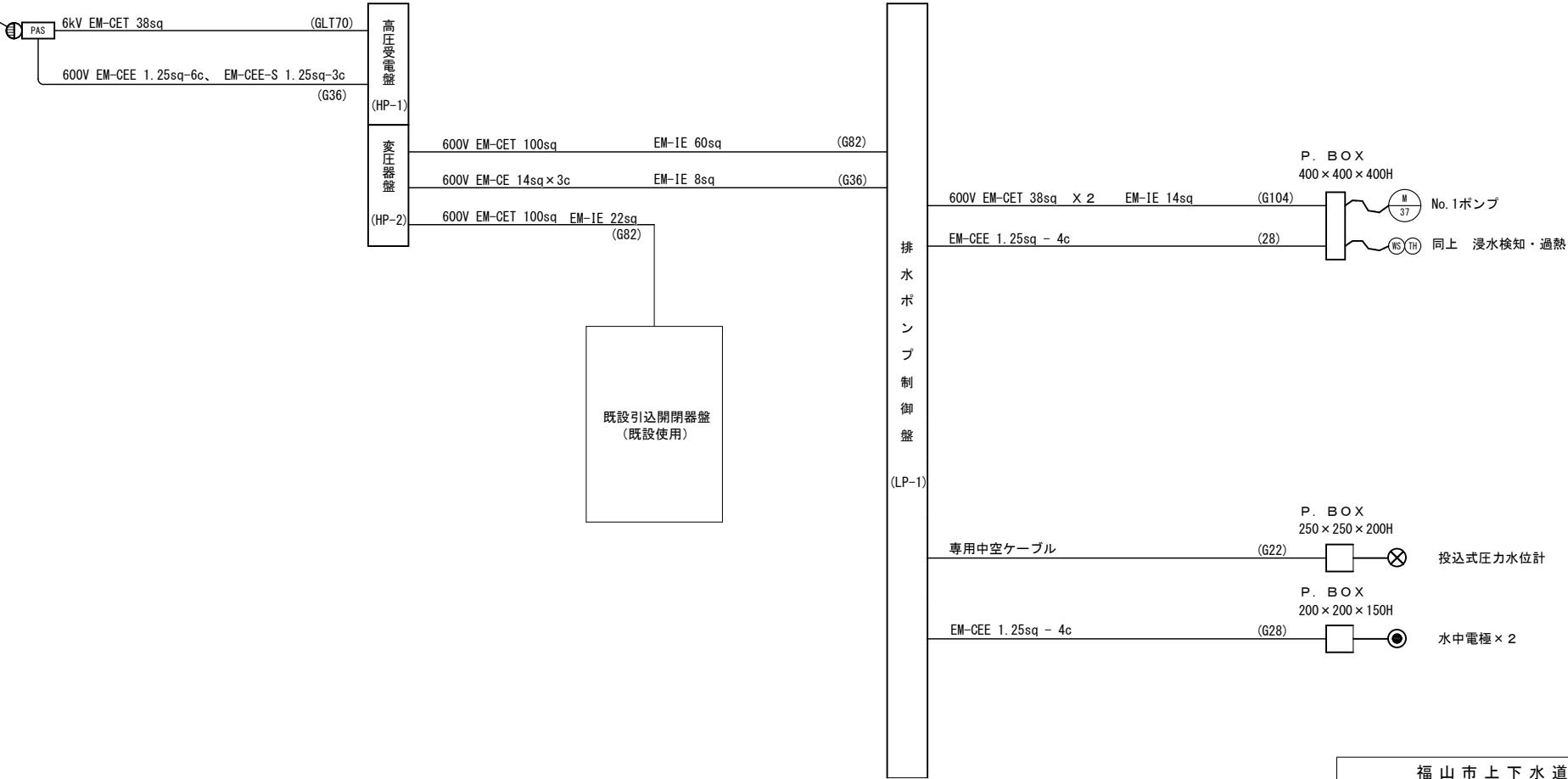
福 山 市 上 下 水 道 局			
工 事 名 称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工 事 場 所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	3	縮 尺	NON
2026年9月	単線結線図		



福山市上下水道局			
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	4	縮尺	NON
2026年9月	ポンプ制御盤系統図		

配線系統図

3φ3W 6.6kV 60Hz



福山市上下水道局			
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	5	縮尺	NON
2026年9月	配線系統図		

高压引込装柱図



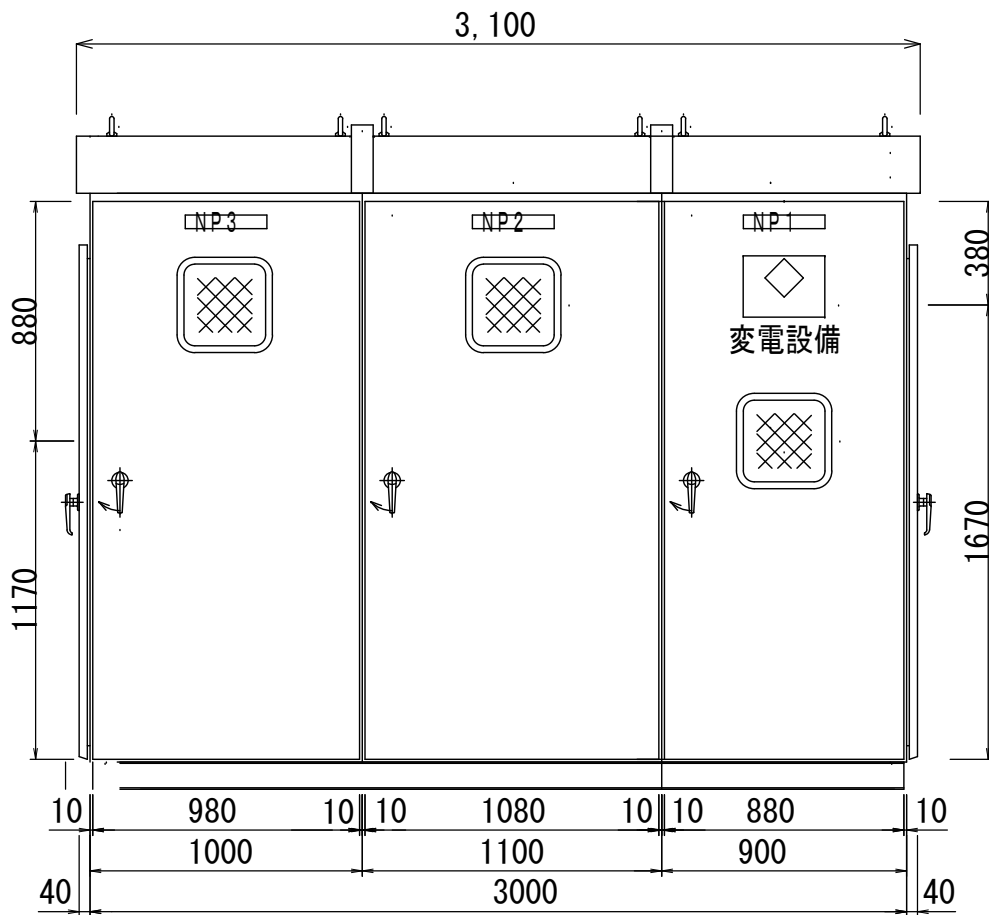
裝柱材明細

No.	品 名	規 格	数量	単位	備 考
①	電柱	コンクリート柱 (12m・19cm・3.5kN)	1	本	電力仕様
②	根かせ	B型バンド付	1	組	
③	軽腕金	1.8ヒ	2	本	
④	軽腕金	1.5テ	0	本	
⑤	軽腕金	1.2ト	1	本	
⑥	軽腕金	0.9テ	1	本	
⑦	アームタイ	3*32*945	3	本	
⑧	自在アームバンド	UABD-317	5	個	
⑨	自在バンド	3BD-HC-17	3	個	
⑩	自在バンド	1BT-212	13	個	
⑪	高圧ビン碍子	一般型	3	個	
⑫	足場ボルト	CP用	12	本	
⑬	ボール底板	No.1 (φ450)	1	個	
⑭	気中開閉器	7.2kV 200A (ZCT・ZPD・LA内蔵)	1	台	
⑮	高圧引下用絶縁電線	PDC 22sq	10	m	

支線材明細

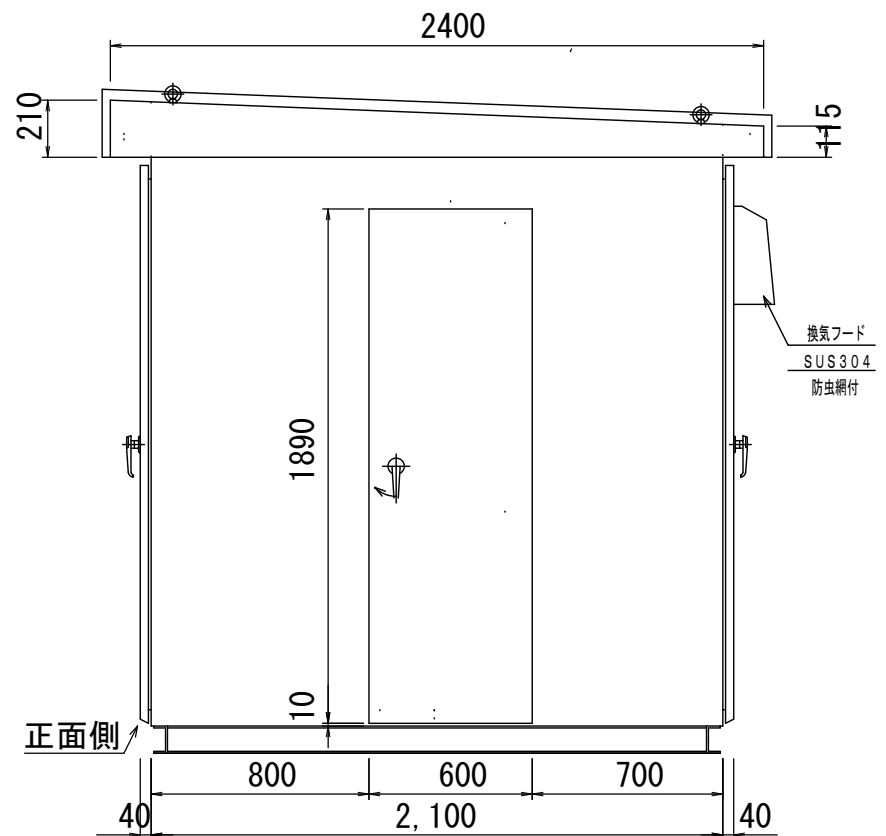
No.	品 名	規 格	数量	単位	備 考
㊦	支線ブロック	1号	1	個	
㊧	自在バンド	3BD-HC-12	1	個	
㊨	シンブル	丸型 18	1	個	
㊩	亜鉛引鋼より線	38sq	1	本	
㊪	巻付グリップ	38sq	4	個	
㊫	玉磚子	100×100	1	個	
㊬	支線ガード	硬質ポリエチレン（黄色） 2.2m	1	本	

福山市上下水道局			
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	6	縮尺	NON
2026年9月	高圧引込装柱図		



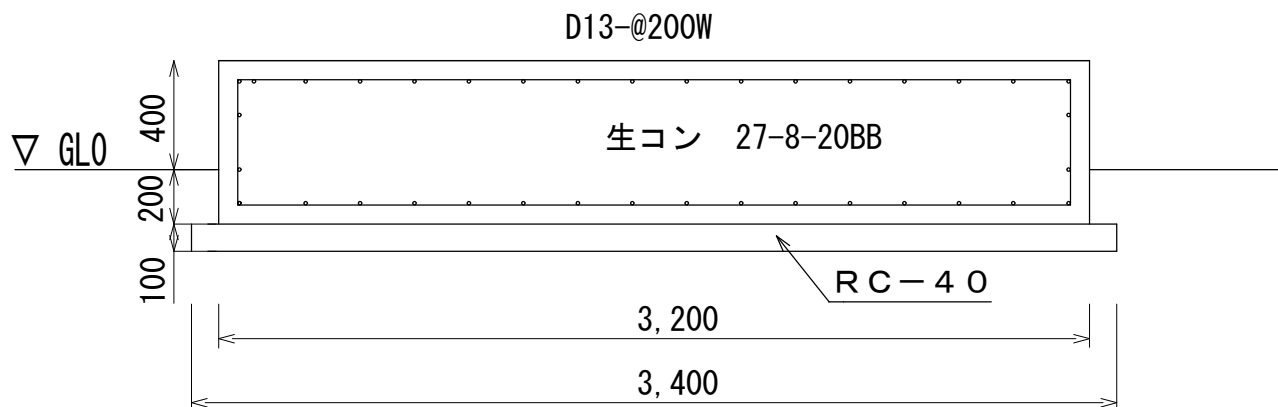
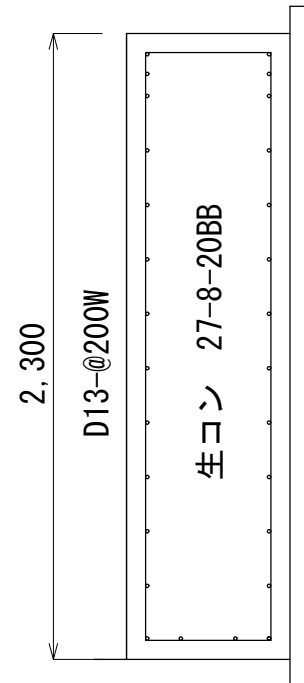
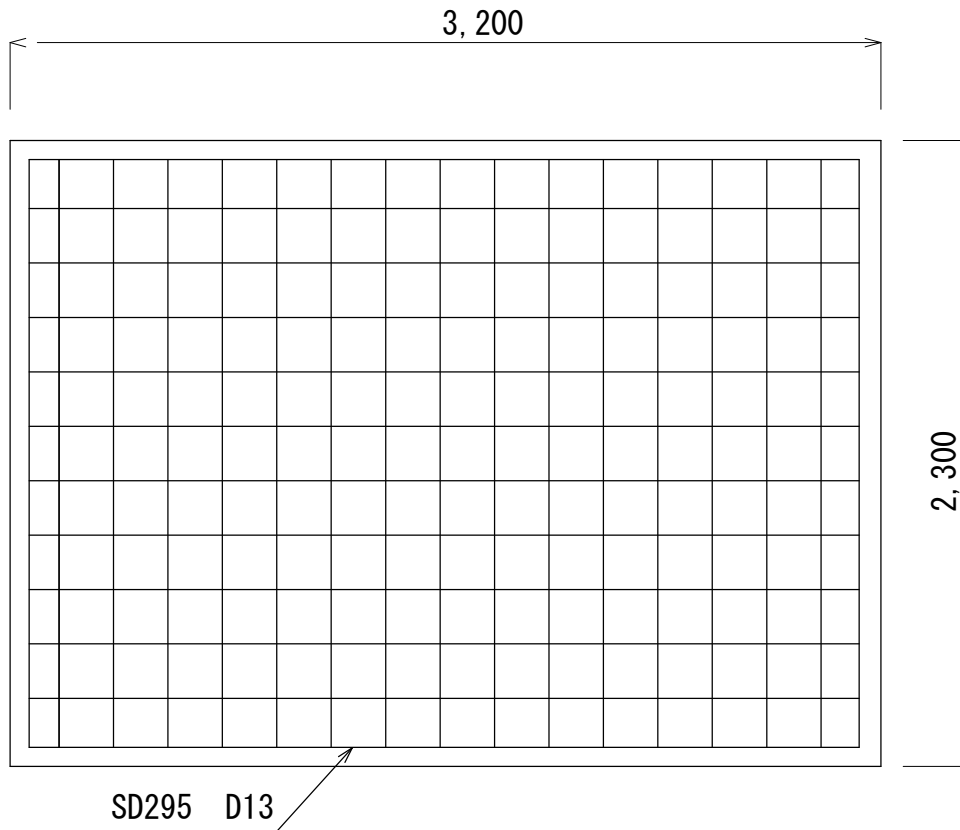
変圧器盤(低圧電灯) 変圧器盤(低圧動力) 高圧受電盤

正面図

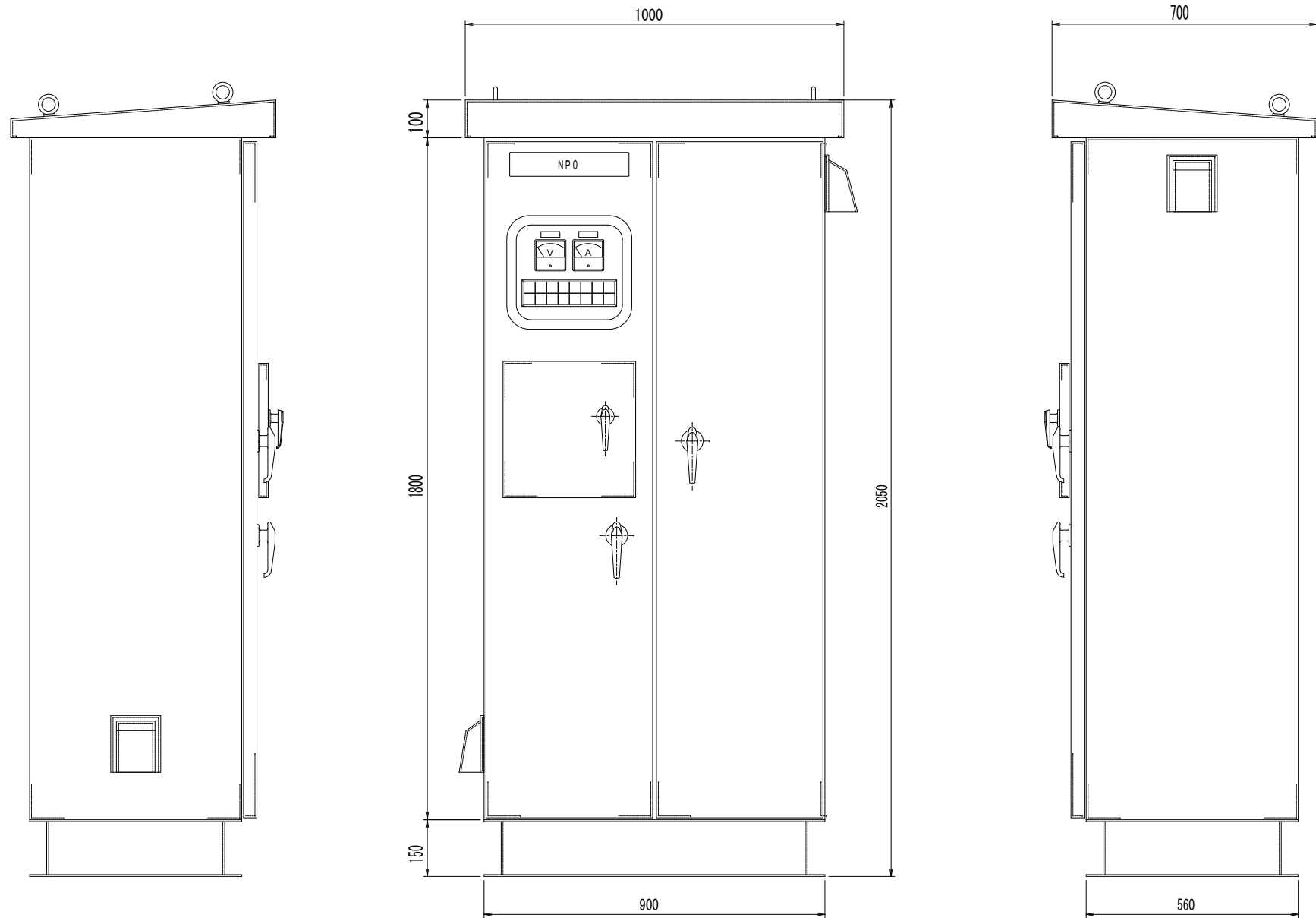


右側面図

福山市上下水道局			
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	7	縮尺	NON
2026年9月	キュービクル外形図		



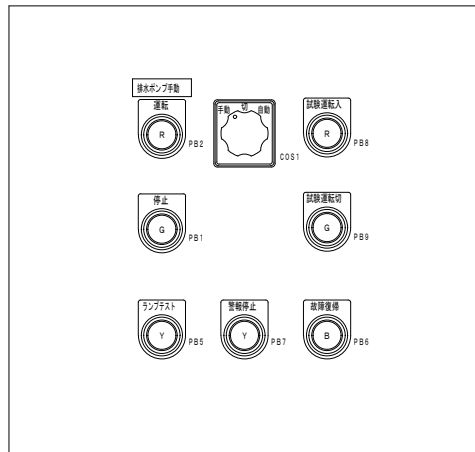
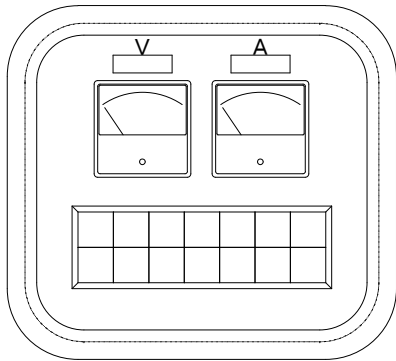
福山市上下水道局			
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	8	縮尺	NON
2026年9月	キュービクル基礎図、配筋図		



ポンプ制御盤（外形図）

福山市上下水道局			
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	9	縮尺	NON
2026年9月	ポンプ制御盤外形図		

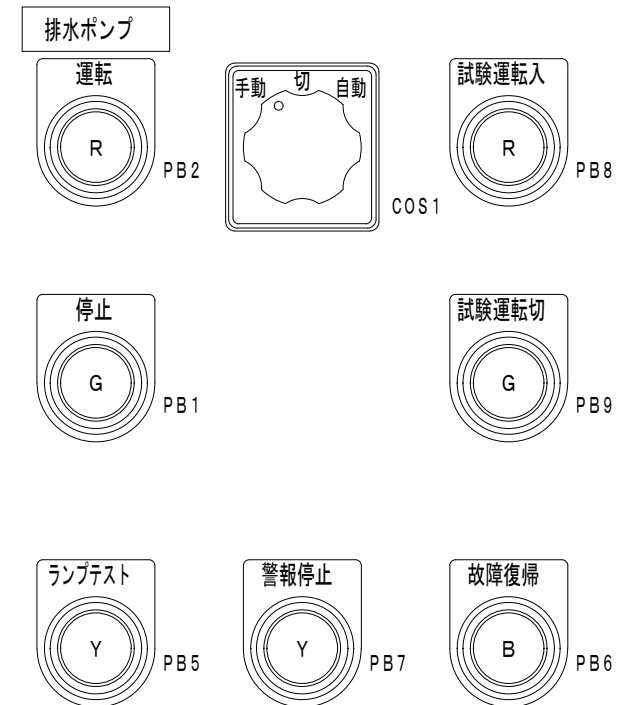
ポンプ制御盤



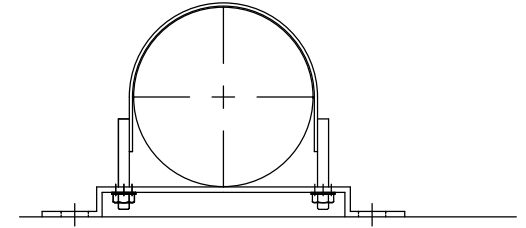
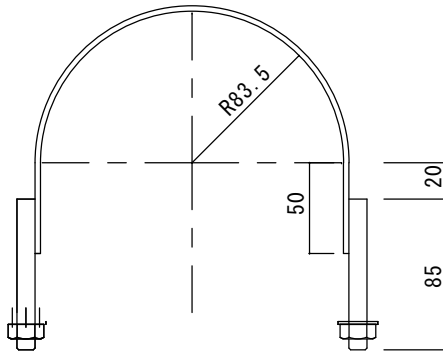
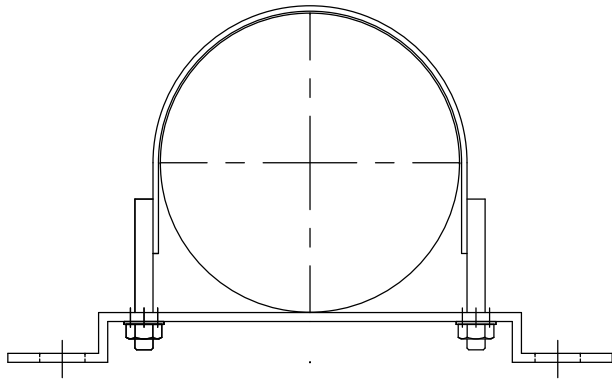
V	動力電源電圧計
A	排水ポンプ電流計

【集合表示灯銘板名称】

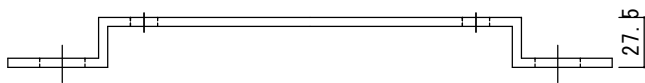
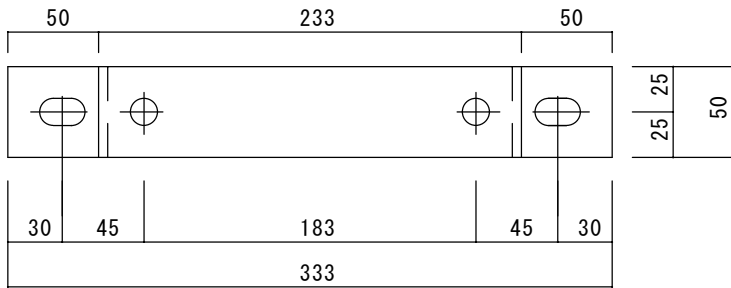
WL 1	WL 3	L 1	L 3	L 5	L 7	L 9
動力電源	自動	排水ポンプ 運転	排水ポンプ 3 E	排水ポンプ 過熱	異常 高水位	制御 計器回路 異常
電灯電源	手動	排水ポンプ 停止	排水ポンプ 漏電	排水ポンプ 浸水	異常 低水位	
WL 2	WL 4	L 2	L 4	L 6	L 8	L 10



福山市上下水道局			
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	10	縮尺	NON
2026年9月	ポンプ制御盤操作扉		

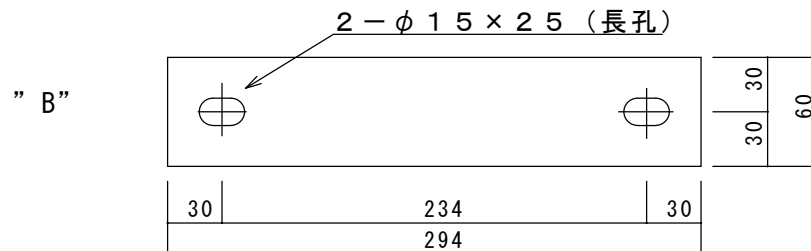
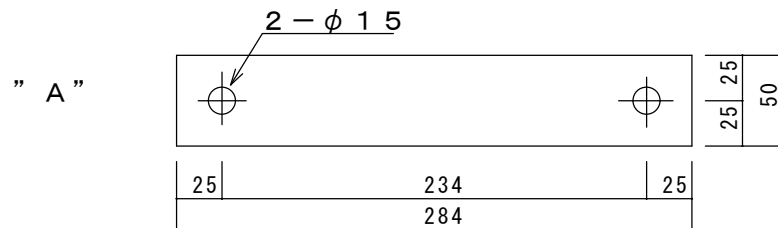
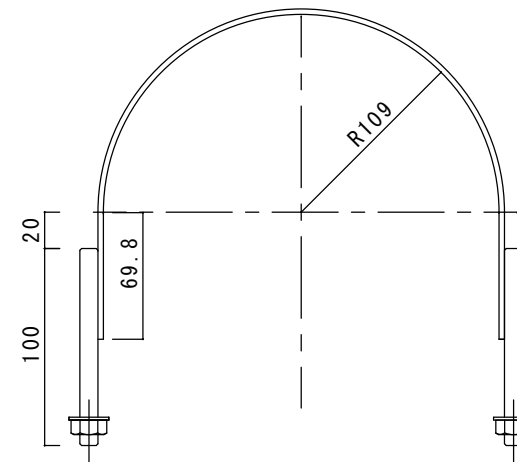
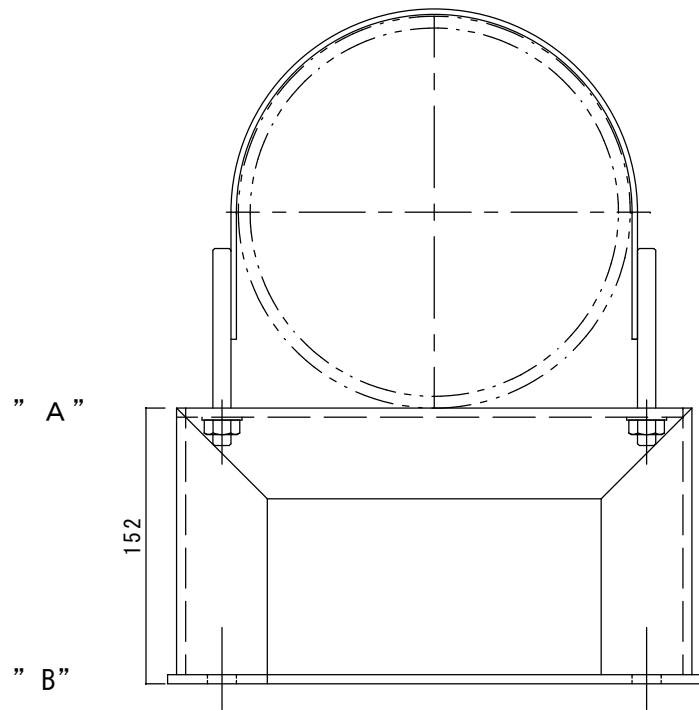


防波管取付イメージ図



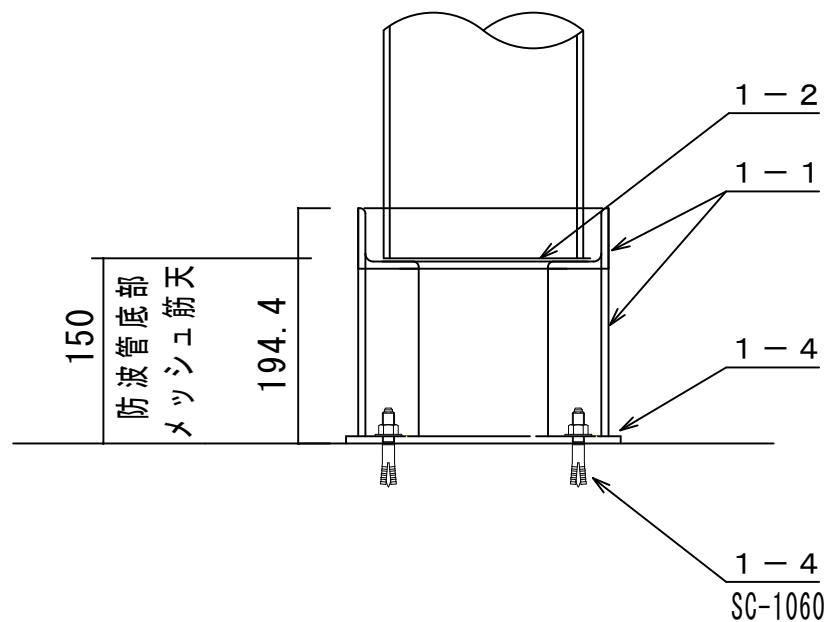
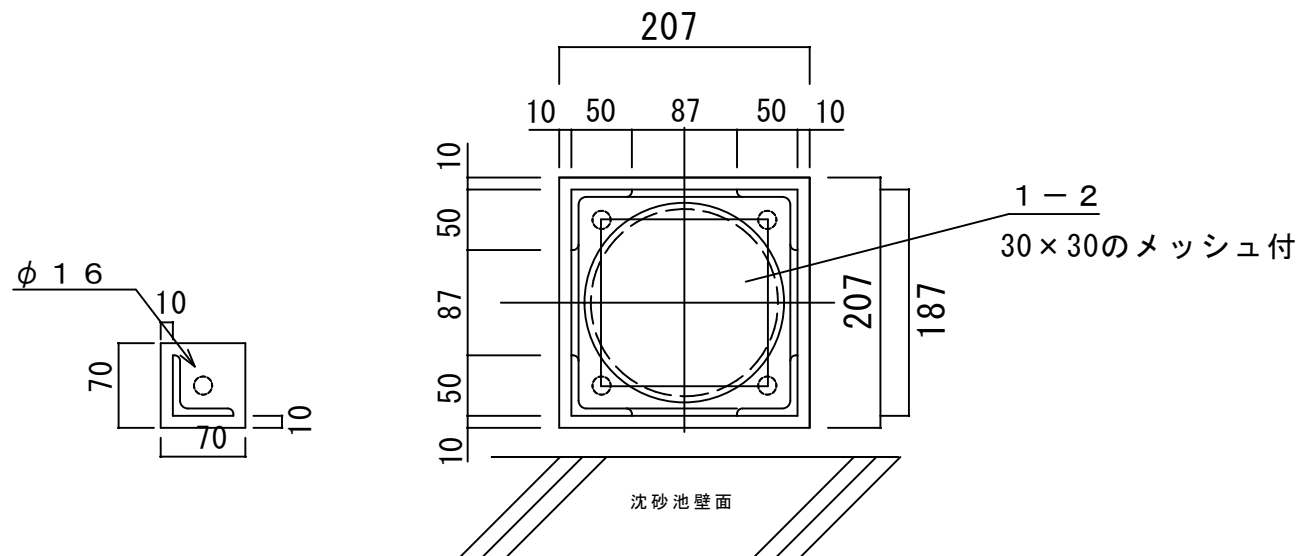
2-1	F B 3 - 3 2 S U S 3 0 4 加 工 品 (M 1 0 ボ ル ト 付)	3 個		
2	固 定 バ ン ド	3 個		
1-2	M 1 2 オ ー ル ア ン カ ー - S U S 3 0 4	6 個		
1-1	F B 5 - 5 0 S U S 3 0 4	1 式		
1	防 波 管 取 付 金 具	3 組		
部 番	名 称 材 質 サ イ ズ	数 量		

福 山 市 上 下 水 道 局			
工 事 名 称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工 事 場 所	福山市柳津町三丁目地内		
図 面 番 号	11	縮 尺	NON
2026年9月	防波管サポート図（V U 1 5 0 用）		



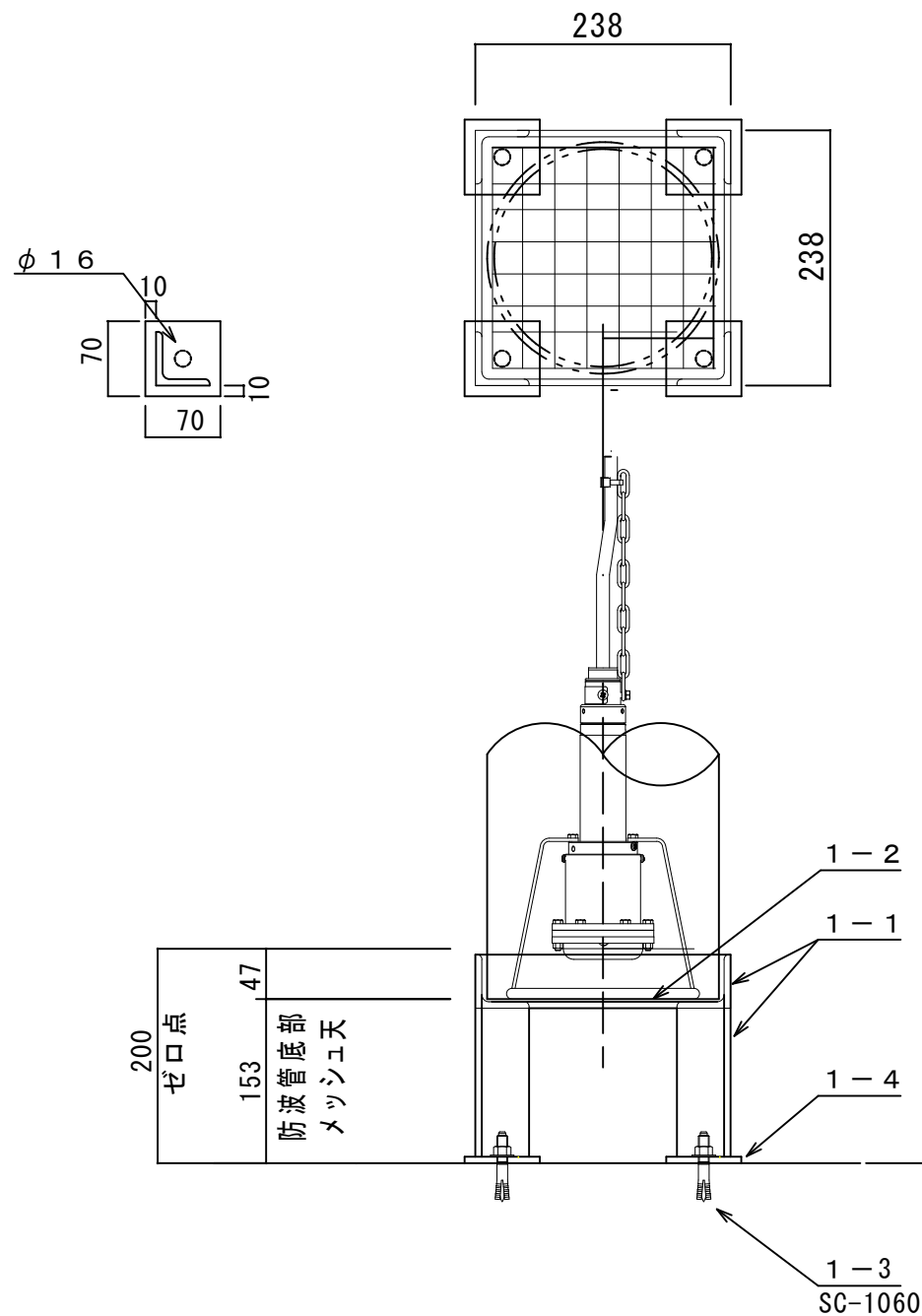
2-1	F B 3 - 3 2 SUS304 加工品 (M10ボルト付)	3 個		
2	固定バンド	3 個		
1-2	M 1 2 オールアンカー SUS 3 0 4	6 個		
1-1	L 5 - 5 0 SUS 3 0 4	1 式		
1	防波管取付金具	3 組		
部番	名称 材質 サイズ	数量		

福山市上下水道局			
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	12	縮尺	NON
2026年9月	防波管サポート図 (V U 2 0 0 用)		



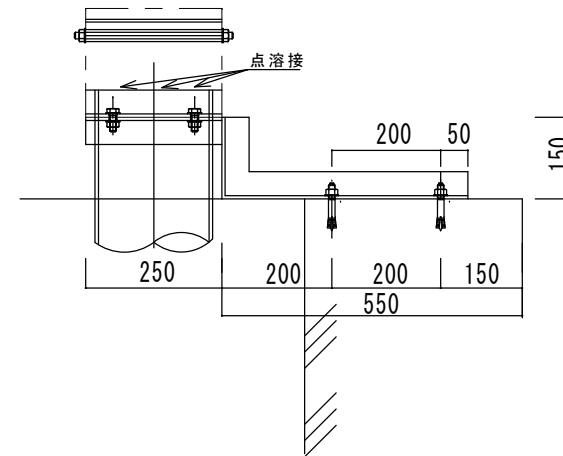
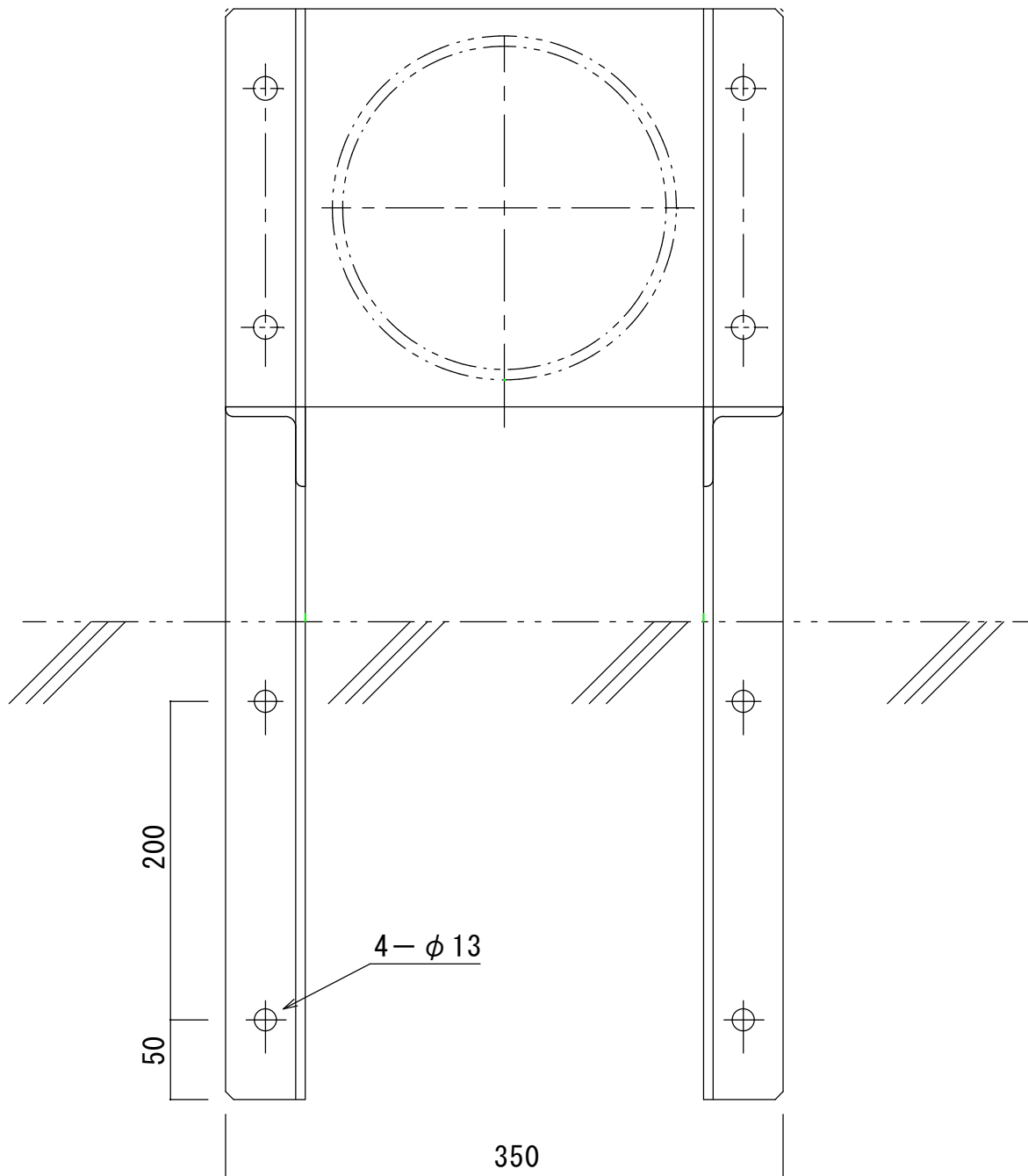
1-4	PL6t 207×207 SUS304	1枚		
1-3	M10 オールアンカーSUS304	4個		
1-2	φ2.6 30×30メッシュ SUS304	1式		
1-1	L6-50 SUS304	1式		
1	防波管取付金具	2組		
部番	名称 材質 サイズ	数量		

福山市上下水道局			
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	13	縮尺	NON
2026年9月	防波管取付架台（VU150用）		



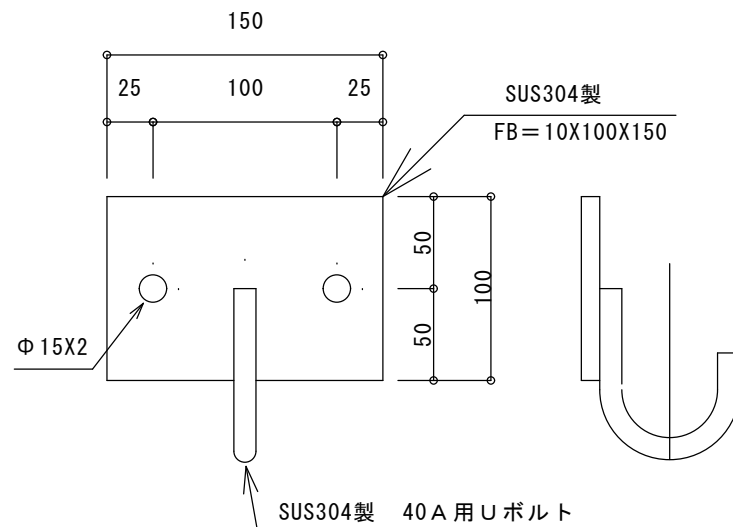
1-4	PL6t 70×70 SUS304	4 個		
1-3	M10 オールアンカー-SUS304	4 個		
1-2	φ2.6 30×30メッシュ SUS304	1 式		
1-1	L6-50 SUS304	1 式		
1	防波管取付金具	1 組		
部番	名称 材質 サイズ	数量		

福山市上下水道局			
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	14	縮尺	NON
2026年9月	防波管取付架台（VU200用）		

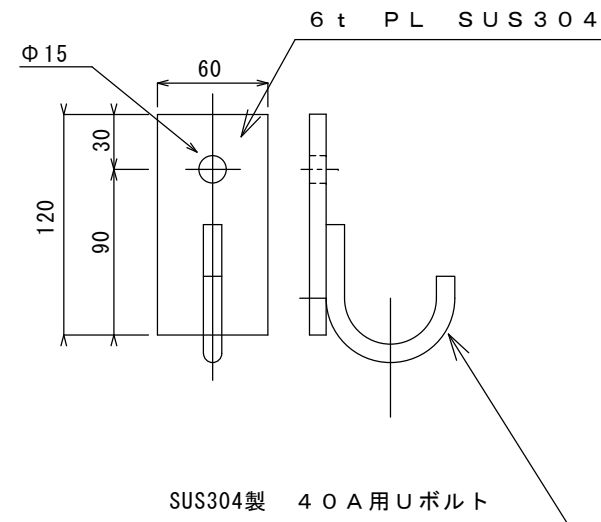


2	ブルボックス 250×250×250H	1 個		
1-2	M12 オールアンカーSUS304	4 個		
1-1	L6-50 SUS304	1 式		
1	ブルボックス取付金具	1 組		
部番	名称 材質 サイズ	数量		

福山市上下水道局			
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	15	縮尺	NON
2026年9月	防波管ブルボックス取付金具(VU200用)		



チェーンフック
(製作数：1個)



ケーブルフック
(製作数：1個)

福山市上下水道局			
工事名称	柳津ポンプ場常時用ポンプ電気設備工事		
工事場所	福山市柳津町三丁目地内		
図面番号	16	縮尺	NON
2026年9月	ケーブルフック、チェーンフック		